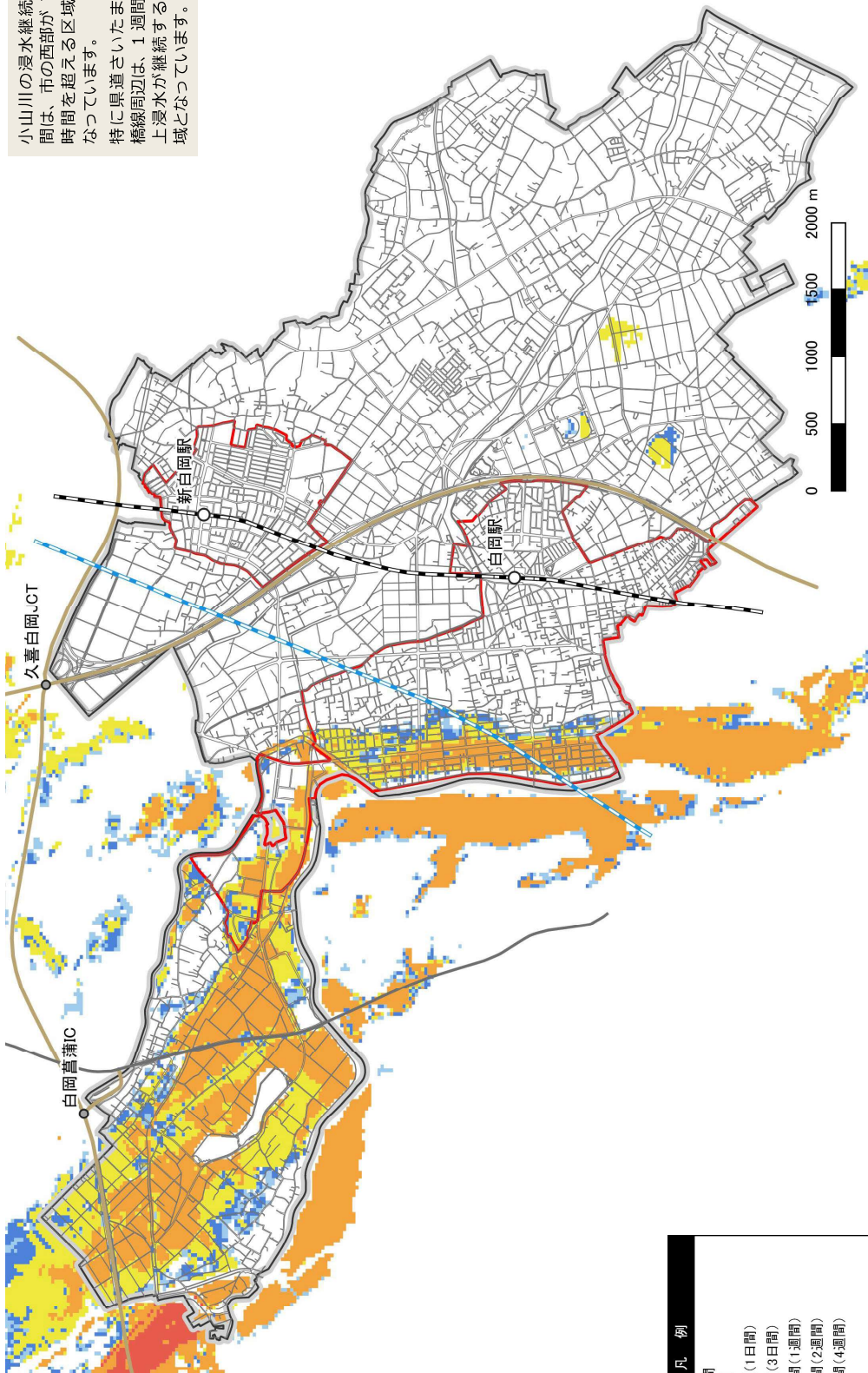


《B 小山川の浸水継続時間》

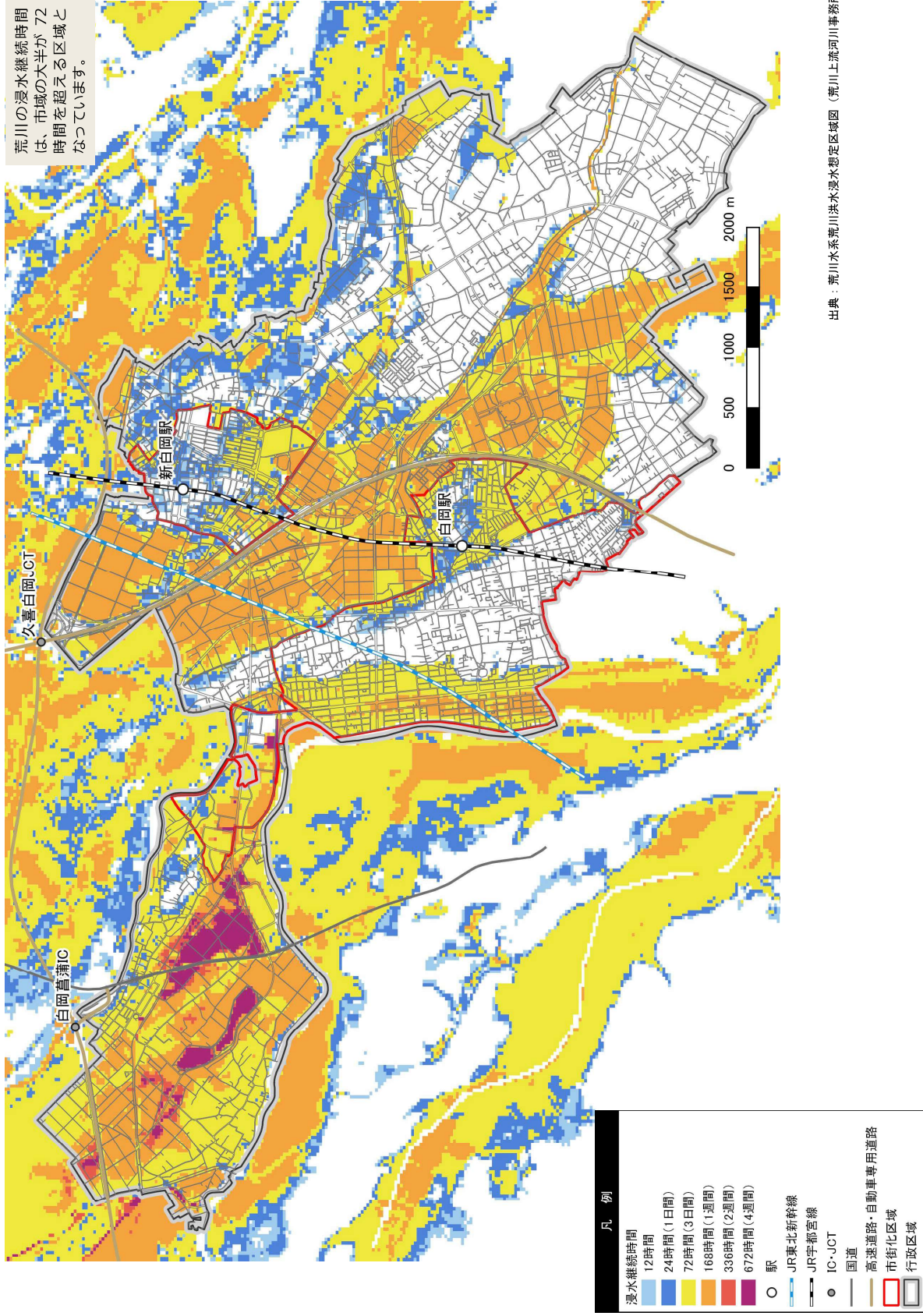
小山川の浸水継続時間は、市の西部が72時間を超え、1週間以上浸水が継続する区域となっています。特に県道さいたま栗橋線周辺は、1週間以上浸水が継続する区域となっています。



凡 例	
浸水継続時間	
12時間	■
24時間(1日間)	■
72時間(3日間)	■
168時間(1週間)	■
336時間(2週間)	■
672時間(4週間)	■
○	駅
—	JR東北幹線
—	JR宇都宮線
○	IC・JCT
—	国道
—	高速道路・自動車専用道路
■	市街化区域
□	行政区域

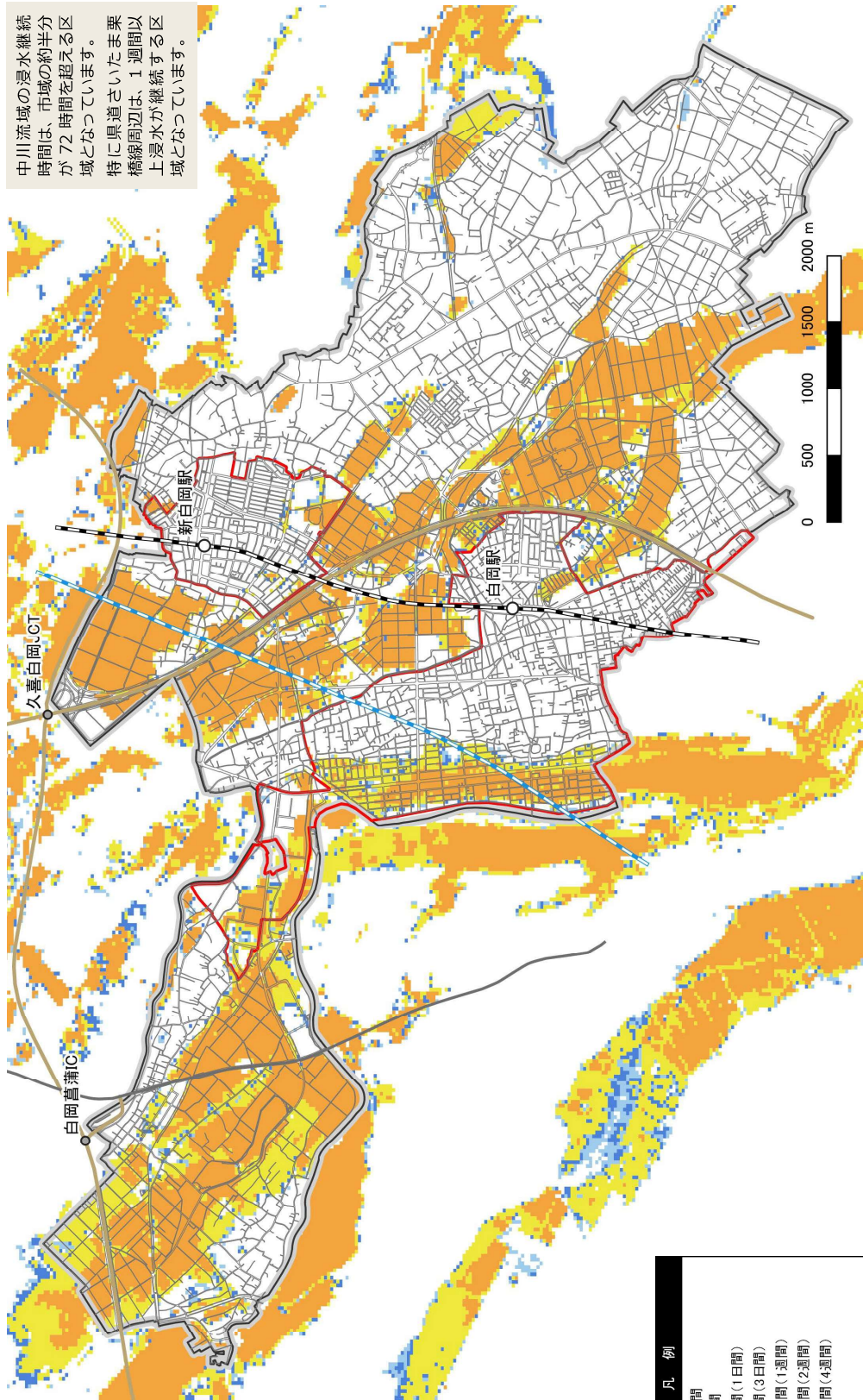
出典：利根川水系小山川洪水浸水想定区域図（利根川上流河川事務所）

《C 荒川の浸水継続時間》



出典：荒川水系荒川洪水浸水想定区域図（荒川上流河川事務所・荒川下流河川事務所）

《D 中川流域の浸水継続時間》



中川流域の浸水継続時間は、市域の約半分が72時間を超える区域となっています。特に県道さいたま栗橋線周辺は、1週間以上浸水が継続する区域となっています。

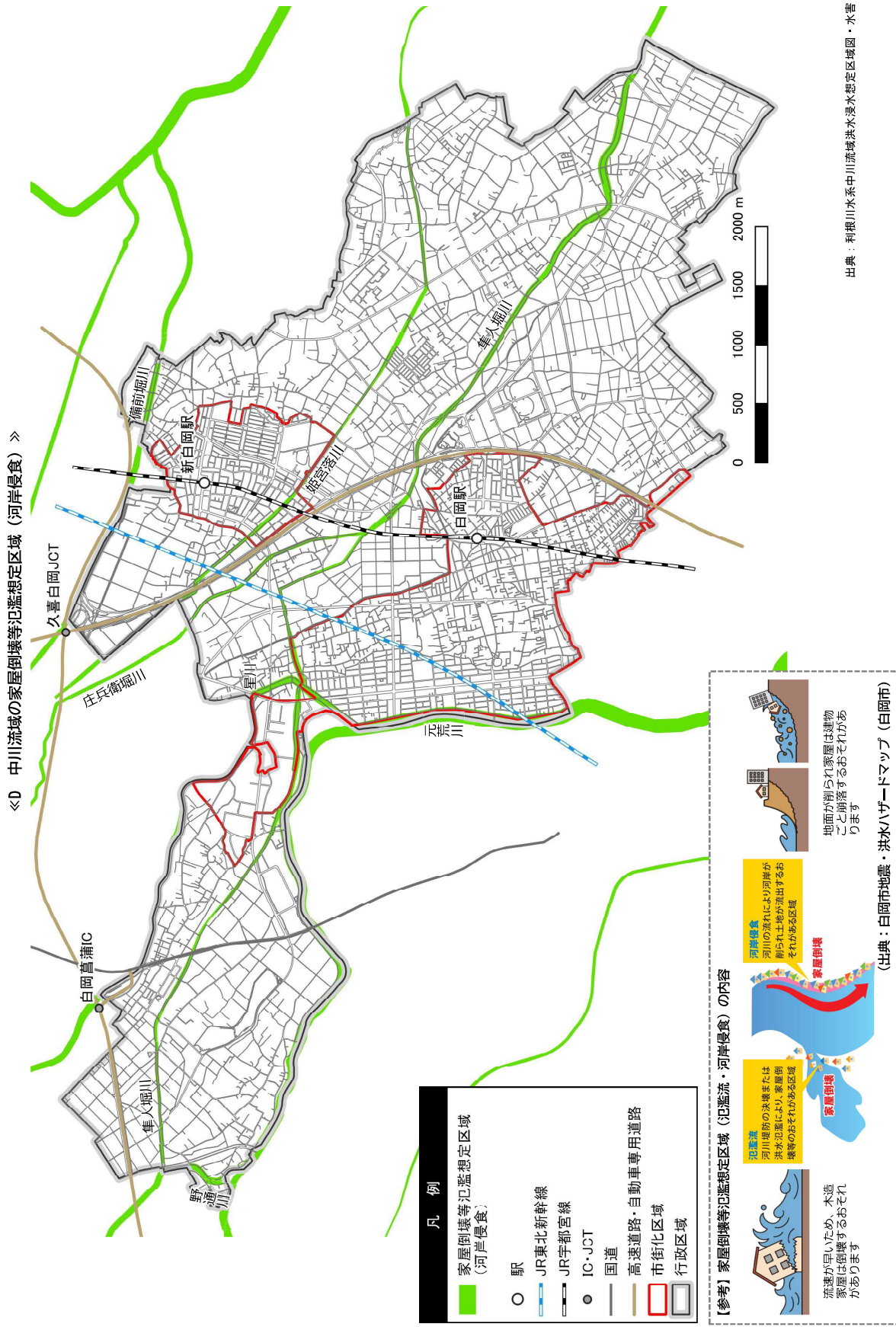
凡 例

- 浸水継続時間
- 12時間
- 24時間(1日間)
- 72時間(3日間)
- 168時間(1週間)
- 336時間(2週間)
- 672時間(4週間)
- 駅
- JR東北新幹線
- JR宇都宮線
- IC・JCT
- 国道
- 高速道路・自動車専用道路
- 市街化区域
- 行政区域

出典：利根川水系中川流域洪水浸水想定区域図・水害リスク情報図（埼玉県）

4) 家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流・河岸侵食）

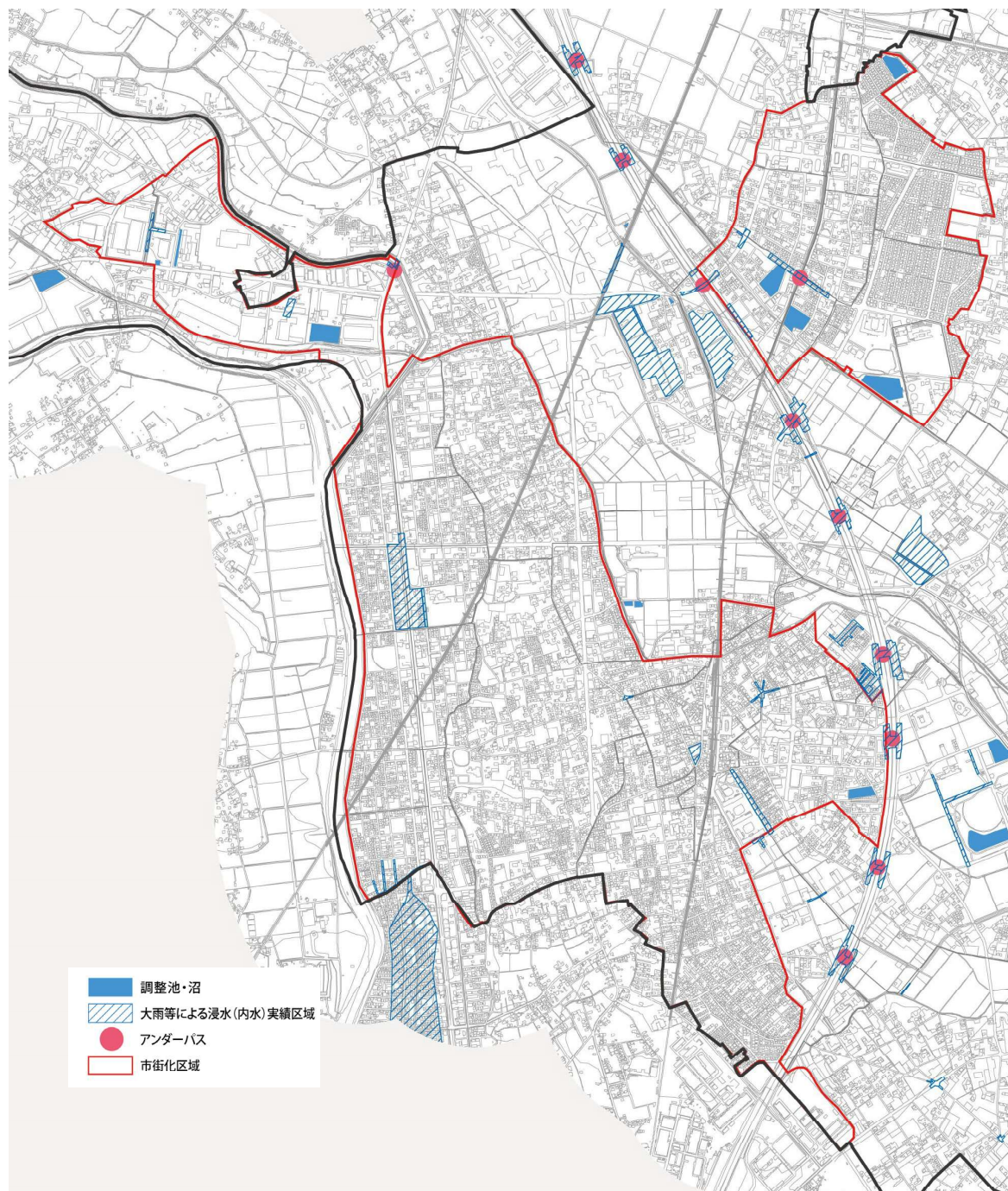
家屋の倒壊・流失をもちたらずような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が想定される区域である家屋倒壊等氾濫想定区域は、中川流域の洪水浸水想定区域等において、河岸侵食が指定されています。市街化区域内では、元荒川、星川、隼人堀川、姫宮落川沿いが指定されています。



(2) 内水

大雨等による内水氾濫で起こる浸水（下水道の雨水排水能力を超える降雨により、雨を河川等の公共の水域に放流できない場合に発生する浸水）は、市街化区域内では、白岡駅周辺や西地区の一部、アンダーパスなどで発生しています。

《浸水（内水）実績》

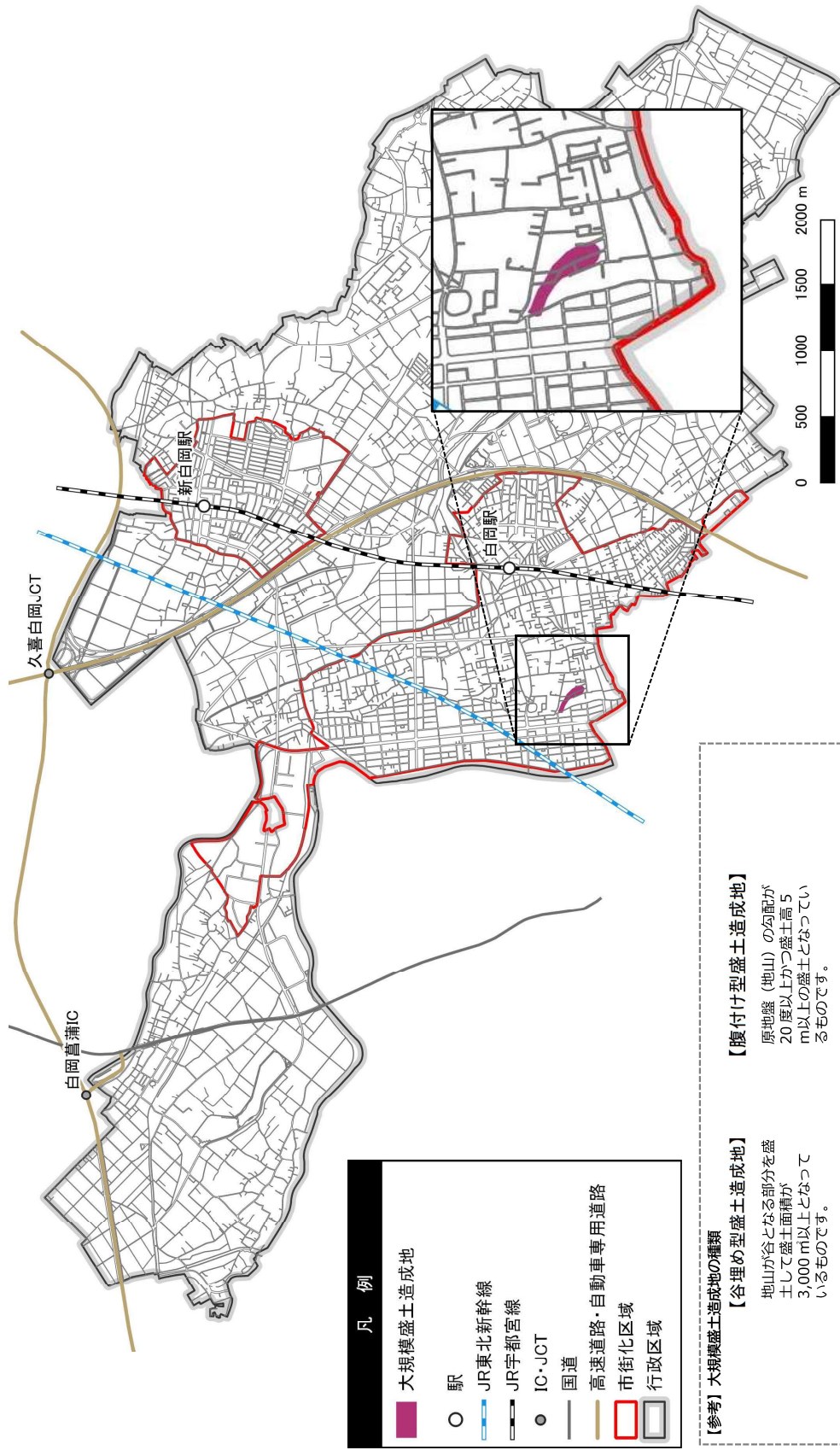


出典：洪水ハザードマップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

(3) 盛土

市内には、大規模盛土造成地が1か所あり、谷埋め型盛土造成地となっています。

《大規模盛土造成地》



凡 例

- 大規模盛土造成地
- 駅
- JR東北新幹線
- JR宇都宮線
- IC・JCT
- 国道
- 高速道路・自動車専用道路
- 市街化区域
- 行政区画

【参考】大規模盛土造成地の種類

【谷埋め型盛土造成地】
 地山が谷となる部分を盛土して盛土面積が3,000㎡以上となっているものです。

【覆付け型盛土造成地】
 原地盤（地山）の勾配が20度以上かつ盛土高5m以上の盛土となっているものです。

(出典：大規模盛土造成地マップ（埼玉県ホームページ））

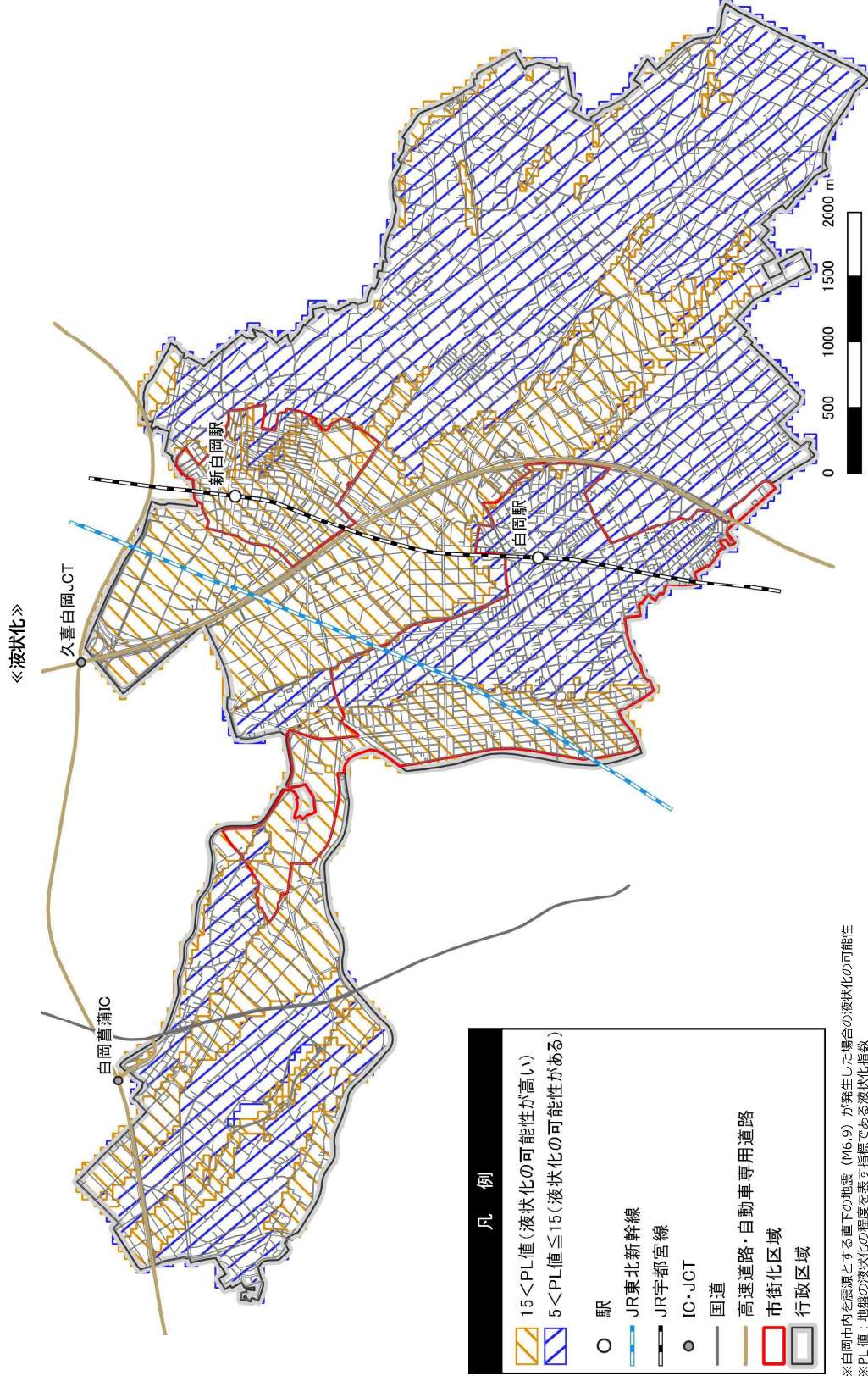
※大規模盛土造成地とは、面積3,000平方メートル以上の谷埋め盛土、または原地盤の勾配が20度以上かつ盛土高5m以上の覆付け盛土がなされた造成地をいいます。大規模盛土造成地全てが、地震時に危険というわけではありません。

出典：大規模盛土造成地マップ（埼玉県ホームページ）

(4) 地震

1) 液状化

地震が起きた際に液状化の可能性が高い地域は、市の中心部や西部地域が多く、市街化区域内や県道さいたま栗橋線周辺となっています。

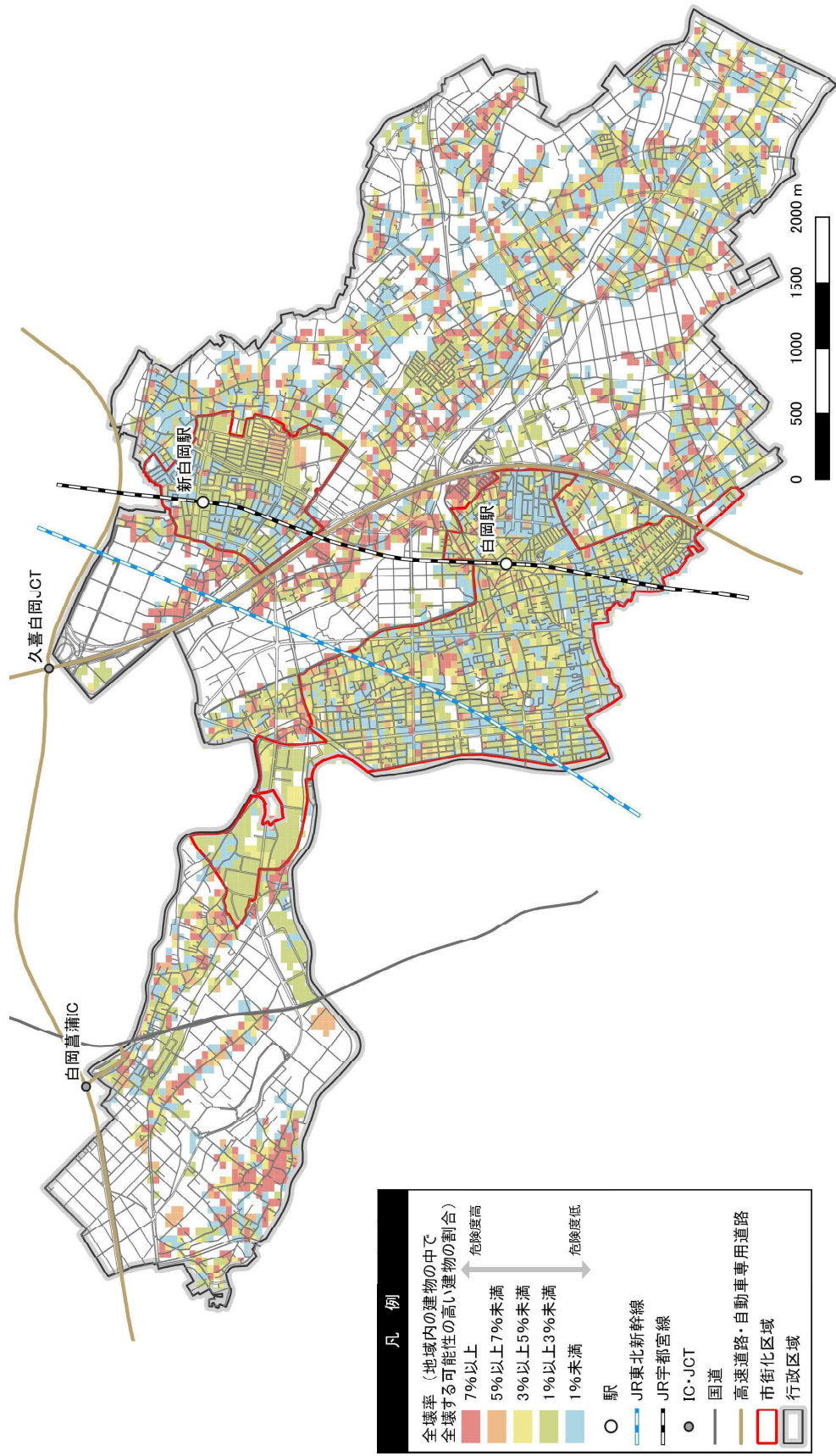


出典：揺れやすさ・液状化マップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）

2) 全壊率（地域内の建物の中で全壊する可能性の高い建物の割合）

地震が起きた際の建物の全壊率は、市街化調整区域では全壊率が7%以上の危険度が高い地域が散在していますが、市街化区域内では比較的危険度が低い地域が多くなっています。

《全壊率》



※震度（M6.9）と建物構造（木造・非木造）、建築年次別の建物棟数（平成29年（2017年）1月1日現在）から、全壊する建物の割合（全壊率）を算出して、50mメッシュごとに、5段階の危険度として示したものの。

出典：地球の危険度マップ（白岡市 令和4年（2022年）4月）